



RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2012-2013 年度 No. 9

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2012-2013 年度 会長 河合耕一、幹事 上田昭二

2012-2013 年度 RI テーマ



「奉仕を通じて 平和を」

(田中作次会長)

例 会 記 録

第 1 6 3 5 回例会

平成 2 4 年 8 月 2 9 日(水) 井波文化センター

1. 点 鐘 会長
2. ソング：それこそロータリー
3. 卓話ゲスト：高木昇氏（富山県立大学准教授：米山奨学生高源さん指導教員）
4. ビジター：渡辺秀一君(南砺 RC)



5. 米山奨学金授与：高源さん「高木先生を卓話に招待できて嬉しいです。今、尖閣諸島の問題で心を痛めています。今後、日中友好に力を尽くしたいです。」



6. 会長の時間：NHK プロフェッショナルの番組。大分

県浅利麴店女将による廃れ行く麴屋復活の話。女将は江戸時代の文献から塩麴を探し当てる。これが全国的なブームとなり、招待されてニューヨークにも行く。南砺市福光の法野麴店へも指導。大変よい話であった。ここでの「1 人勝ち直ぐ潰れる」「消費ブームは業界全体で行う」。これらは RC 精神にも通じるものがある。来週はガバナー中尾さんを講師として迎える。是非、参加されたい（会長はワレモコウとフッキソウを持参して演題卓の花瓶に生ける）。

7. 幹事報告：①9月3日(月) 2RC 合同ガバナー公式訪問について。バス 17:15 井波交通広場、17:25 福野産業文化会館。中尾さんはクールビズ、皆さんも同様にと。②9月のロータリーレートは、1ドル=80円 ③「庄川上流域の国有林見学と森林づくりの語らい」9月23日、各テーブルに案内あり。19日まで申し込み、参加定員 30名。④今日例会後、理事会。
8. 委員会報告：①社会奉仕委員会（山本委員長）：第 50 回高瀬神社奉納剣道大会が、9月17日（祝）開催、50 回の記念大会で野試合などがあります。当クラブから協賛金を出しました。②出席委員会：本日 20 名中 15 名出席（75.00%）
9. ニコニコBOX(SAA:本日 4名 5000円、8月計 41000円、【7月計 51000円：7月25日掲載漏れ】 年度累計 92000円)

河合会長：高木先生、遠路お越し下さってありがとう

ございます。

上田会員：まだまだ暑い日が続きそうですね。孫達も今日と明日の2日間で宿題のラストスパート。昔を思い出します。昔の自分に生き写しです。

中島会員：富山県立大学、高木先生ようこそお越しいただきました。後程卓話よろしく申し上げます。私ごとですが、少し長めの夏休みを頂き、パワー充電しました。今日からまた元気に頑張ります。

山本会員：遅刻おわびします。渡辺さんようこそ。高源さん、高木准教授ようこそいらっしゃいました。(後から提出)



卓話「剣道について」

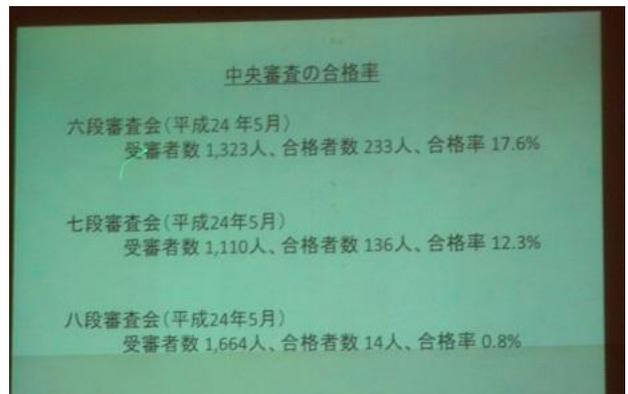
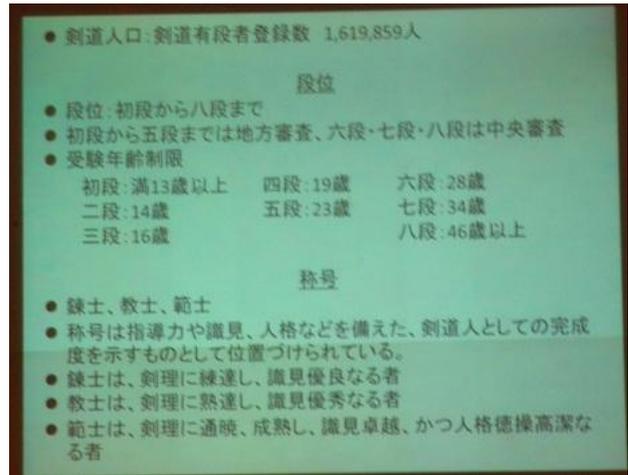
高木昇先生(富山県立大工学部知能デザイン工学科)

齋藤彰米山カウンセラー(紹介者)：奨学生担当教授による卓話はRCのルール。昨年からお願ひし、今回ようやく実現。高木先生は、昭和41年、東京渋谷生まれ。明治大卒。富山に来て20年余り。趣味は登山と剣道。

高木先生：高源さんがロータリー米山奨学金を受給していることにお礼申し上げます。ロータリー奨学生は、会員や他の留学生との交流が多く学生にとって非常に有益な制度であると感じています。齋藤さんとの事前の話で、私の専門より趣味の話をお願いされ、初めてですが「剣道について」話します。始めに剣道について解説し、その後NHKの番組「人間ドキュメンタリ」で扱った剣道のビデオをお見せし、私見も交えながら話したいと思います。

現在の剣道有段者数は約160万人で減少傾向にあります。剣道の段位は初段から八段までです。昔は十段もありましたが現在は廃止されています。初段から五段までは県

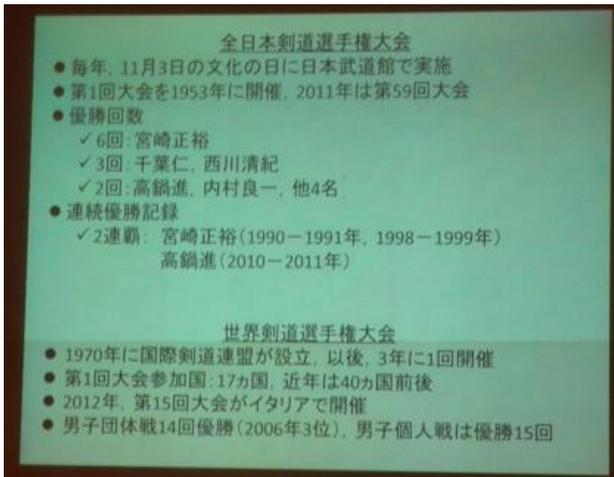
単位の地方審査会、六段以上は全国統一の中央審査となります。受審資格は厳しく、初段は満13歳にならないと受審資格がありません。以降、取得段位数の年数の間は次の段位の受審資格がありません。但し、七段合格後10年間は、八段受審資格はありません。段位審査は非常に厳しく、八段の合格率は1%前後が普通です。超難関とされる旧司法試験でも合格率は2~3%程度であったので、八段審査は資格審査の中では全国一の難易度であると思われます。



次に、剣道競技に目を向けると、国内では毎年11月3日の文化の日に日本武道館において全日本剣道選手権が実施されています。また、1970年に国際剣道連盟が設立され、以後3年に1回、世界剣道選手権大会が行われています。現在では、40カ国前後の参加があり、剣道も世界的に認知されつつあります。今年にはロンドン五輪の年でしたが、剣道もかつては五輪競技にするべきかの検討がなされたそうです。五輪競技になると勝つ事が全てに優先する考え方が支配的になることを恐れ、剣道を五輪競技とはしないことで結論が出ていると聞いています。

剣道の淵源を辿ると、刀剣に関する観念は古代に、日本刀は中世鎌倉時代以降に、竹刀と防具使用の技法は江戸時

代後期にそれぞれ遊ることができます。もともと剣道は戦さでの刀剣使用による殺人技として発達してきたと思い

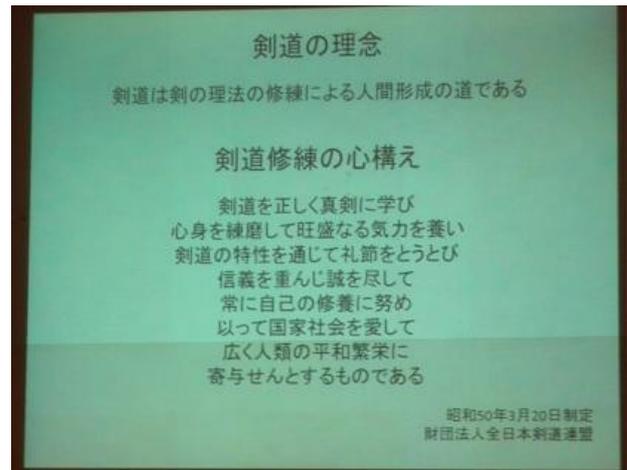


ますが、江戸期になると殺人的な要素から武士の精神鍛錬のための要素が強くなってきたようです。幕末頃になると面・小手・胴などの防具と竹刀を使用した稽古方法が確立され、現代剣道に大きな影響を及ぼしたようです。「剣道」という用語が使われ始めたのは明治期と思いますが、公的に使用されたのは大正 15 年改正の学校体操教授要目が最初であり、昭和になって定着したようです。

では、NHK 人間ドキュメンタリのビデオを数分程度ご覧いただきます。10 年以上前のビデオですが、宮本さんという当時 78 歳のベテラン剣士の八段受審ドキュメンタリです。宮本さんは八段受審に当って、技術的な事は何一つ述べておらず、常に心が重要であると述べています。つまり、相手と対峙すると先に打ち込みたい気持ちが出てくる。その逸る気持ちを制御し如何に自分に有利な機会に迷わず打突するかが重要であると考えているようです。剣道の打突機会は一瞬で、現れたかと思うと直ちに消滅します。その一瞬の隙を捉え迷わず無心で打突することは非常に難しいことです。私自身も、身体能力の高い若い時期には心の問題は認識していなかったですが、身体能力が衰えつつある最近では少しずつですが心が剣道に及ぼす影響を



認識し出しています。



全日本剣道連盟では、昭和 50 年に「剣道の理念」と「剣道修練の心構え」を制定しています。剣道の理念は「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」と定められています。剣道修練の心構えでは、「常に自己の修練に努め」「広く人類の平和繁栄に寄与」するものと述べられています。これら文章は、明治期から昭和初期に剣道を学んだ剣豪の先生方により制定されました。剣道の理念や剣道修練の心構えから、この時期の先生方は、剣道を自己研鑽のために学んでいたことが良く理解できます。私も教育現場に身を置くものとして、剣道を通して自己を研鑽し、大学に奉職する身として学生教育へ生かしていきたいと考えています。長い間ご清聴ありがとうございました。

質問 (中島 SAA) : 高木先生ご自身の六段審査の状況をご説明下さい。

高木先生の回答 : 六段審査は、立会と呼ばれる稽古を 1 分間、異なる相手と 2 回行います。6 人の審査員の過半数、つまり 4 名の審査委員が合格と判定すれば合格します。私の場合、約 1 年近く週 4 回稽古を続け、多くの七段先生に稽古をつけて貰いました。多くの先生方のお蔭で合格できたと思っています。